

# 第2次 大川市地域福祉計画・ 地域福祉活動計画

概要版



みんなで支え合う笑顔あふれる  
地域共生社会 大川

令和2年3月

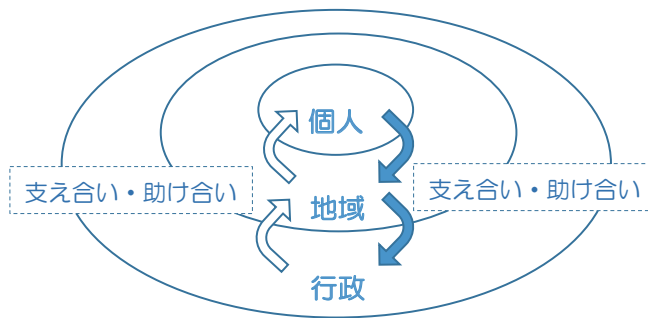
大川市・大川社会福祉協議会



## 地域福祉とは

「地域福祉」とは、制度によるサービスを利用するだけでなく、地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係や仕組みを作っていくことです。

### 【地域福祉の推進イメージ】



### 【地域福祉の推進にあたってのキーワード】

自 助	個人や家族による支え合い・助け合い (自分でできることは自分です)
互 助	地域社会における相互扶助 (隣近所や友人・知人とお互いに支え合い・助け合う)
共 助	地域活動やボランティア、地域の事業所や社会福祉法人等による支え (「地域ぐるみ」で福祉活動に参加し、地域全体で助け合い、支え合う)
公 助	公的な制度としての保健・福祉・医療その他の関連施策に基づくサービス提供 (行政でなければできないことは、行政が実施する)

## 地域共生社会とは

「地域共生社会」とは、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくり上げていくことをめざす社会を言います。

「地域共生社会」の実現をめざすために、自助・互助・共助・公助という視点を持ち、地域福祉を推進していくことが必要です。



## 大川市地域福祉計画・地域福祉活動計画とは

本計画は、地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的に策定しています。

地域福祉計画では、大川市の地域福祉の方向性、地域福祉活動計画では、社会福祉協議会で取り組む具体的な事業等を明記しています。

### 「地域福祉計画」

「地域福祉を推進するための仕組みをつくる計画」で、社会福祉法第107条の規定に基づき、市が策定します。

### 「地域福祉活動計画」

「住民」「地域で福祉活動を行う者」「福祉事業を経営する者」が相互に協力して、地域福祉の推進を目的とする実践的な活動・行動計画として、具体的な行動と関係機関の役割分担が明示されたもので、民間組織である社会福祉協議会の活動計画として策定します。

本計画は、「大川市総合計画」を上位計画とし、地域福祉の推進を具体化する計画です。本計画は、福祉の分野ごとに作成される部門別計画の上位計画となり、福祉の分野別計画以外の諸計画と整合性を図ります。

また、大川市第6次総合計画では、SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称）を取り入れ、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざすまちづくりを進めています。この考え方を踏まえ、地域福祉においても持続可能な開発のためのまちづくりを推進しなければなりません。

SDGsには17のゴールがあり、地域福祉計画で主に取り組むゴールは次のゴールとなります。



3 すべての人に健康と福祉を



10 人や国の不平等をなくそう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 計画の期間

### 2020年度から2029年度までの10年間

ただし、社会経済情勢の変化や大きな制度改正などに対応できるよう、必要に応じて見直しを行います。

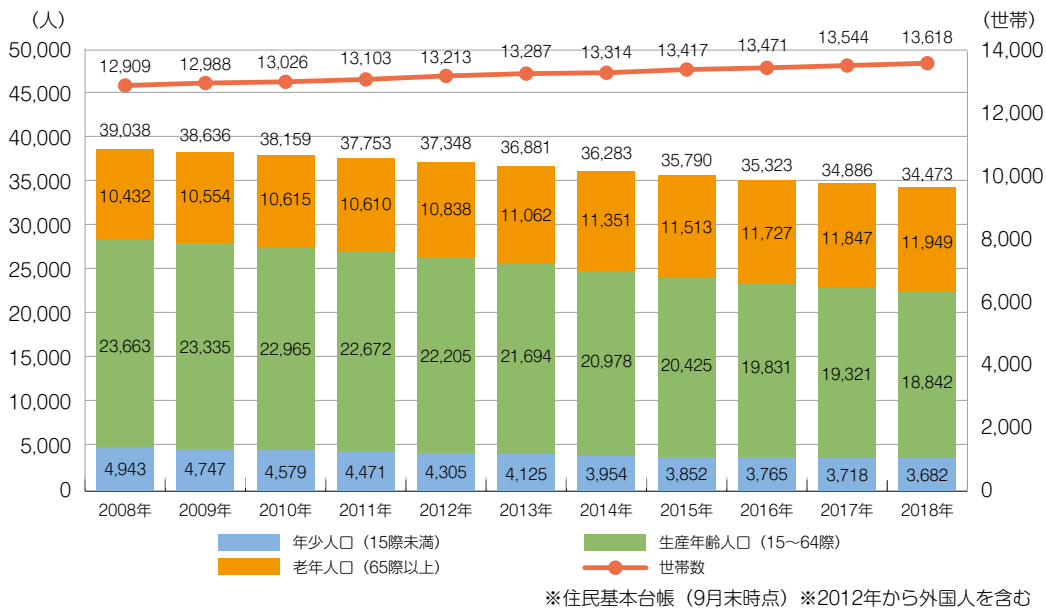


## 大川市の現状

### ◆少子高齢化の進行

大川市の人口は、10年前の2008年から2018年にかけて4,565人減少し、34,473人となっています。年少人口と生産年齢人口は減少、老年人口は増加しており、少子高齢化が進行しています。

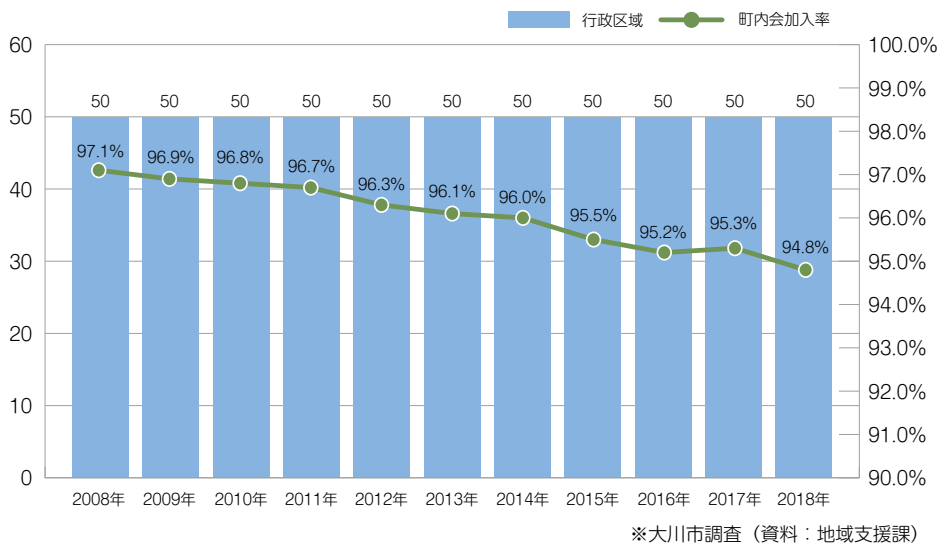
### ■ 年齢区分別人口と世帯数の推移



### ◆町内会加入率の減少

行政区数は一定ですが、生活様式の変化などによる地域のつながりの稀薄化にともなう、町内会加入率は、10年間で徐々に減少し、2.3ポイント低下しています。

### ■ 行政区数、町内会加入率の推移

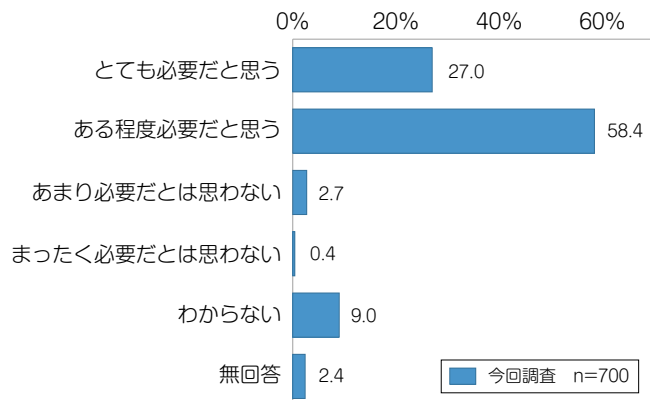




## 市民意識調査から

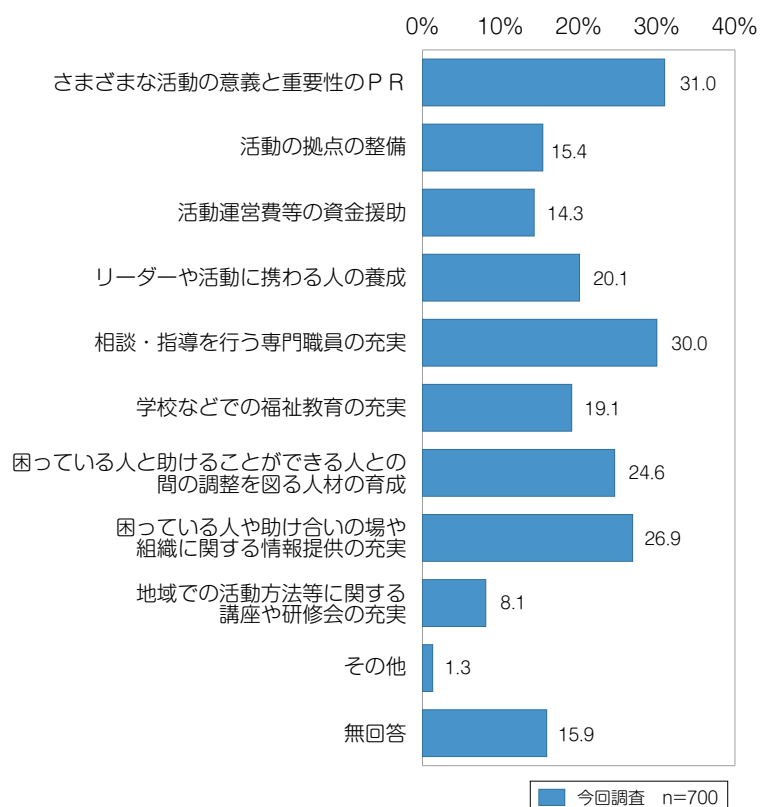
### ◆住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性について

○「住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性について」尋ねたところ、「とても必要だと思う」、「ある程度必要だと思う」が全体の約9割となっており、多くの方が、住民同士のつながりが『必要だと思う』と回答しています。



### ◆地域福祉を推進していくために重要な取り組み

○「地域福祉を推進していくために重要な取り組み」について尋ねたところ、「さまざまな活動の意義と重要性のPR」が最も多く、次いで「相談・指導を行う専門職員の充実」、「困っている人や助け合いの場や組織に関する情報提供の充実」、「困っている人と助け合える人との間の調整を図る人材の育成」、「リーダーや活動に携わる人の養成」の順に多くなっています。



そのほか、「地域の福祉課題についての関心度」に関する質問では、全体の約7割の方が「とても関心がある」と「ある程度関心がある」と回答しています。

地域の福祉課題を解決するには、「支え手」「受け手」という関係を超え、暮らしの基盤である「地域」でお互いに支え合い、助け合うしくみづくりが重要です。



## 計画の基本理念

安心して、健康で、生きがいをもって暮らすことができるよう、みんなと共に支え合うまちづくりを進めるため、次の「基本理念」を設定いたしました。

### みんなで支え合う笑顔あふれる地域共生社会 大川

#### 基本目標1 人づくり、ネットワークづくりでのまちづくり

- 求められる社会・取り組み
  - ・助け合う意識づくりや、支え合いの活動を担う人づくり
  - ・人と人が助け合い、支え合う福祉の心と地域の課題を解決するためのネットワークづくり
  - ・身近な地域単位で、市民や関係団体の連携
- 主な施策
  - 1 一人ひとりの意識の向上
  - 2 福祉教育及び体験学習の推進
  - 3 地域福祉のネットワークづくり
  - 4 地域のつながりの強化
  - 5 地域福祉の担い手の育成支援
  - 6 ボランティア活動の推進
  - 7 地域福祉活動の場づくり
  - 8 社会福祉協議会及び各種団体との連携強化

#### 基本目標2 情報提供の充実からの安心づくり

- 求められる社会・取り組み
  - ・地域福祉に対する意識の向上
  - ・さまざまな福祉サービスの周知
  - ・必要な情報が必要な人に届き、生活に安心感をもてるような社会
- 主な施策
  - 1 福祉サービスの適切な情報提供
  - 2 広報・啓発活動の推進



### 基本目標3 安全で安心して生活できる環境づくり

- 求められる社会・取り組み
  - ・ 防災・防犯・緊急時の支援を強化
  - ・ 地域防災力の向上や地域での防犯活動の促進
- 主な施策
  - 1 防災対策の充実
  - 2 防犯・安全対策の充実

### 基本目標4 適切な支援につなぐ仕組みづくり

- 基本目標の背景と取り組み
  - ・ 地域における福祉ニーズの把握
  - ・ 地域の中で安心して生活できるようなライフステージごとの支援
  - ・ 福祉サービスの質の向上、相談体制の充実
- 主な施策
  - 1 高齢者、障がい者、子育て支援の充実
  - 2 生活困難者、就労が困難な方等への支援の充実
  - 3 権利擁護の推進
  - 4 福祉サービスの質の向上
  - 5 相談支援体制の充実

### 基本目標5 いのちを支える地域づくり

- 基本目標の背景と取り組み
  - ・ 社会全体の自殺リスクを低下
  - ・ 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現
- 主な施策
  - 1 地域におけるネットワークの強化
  - 2 自殺対策を支える人材の育成
  - 3 住民への啓発と周知
  - 4 生きることの促進要因への支援
  - 5 児童生徒のSOSの出し方に関する教育



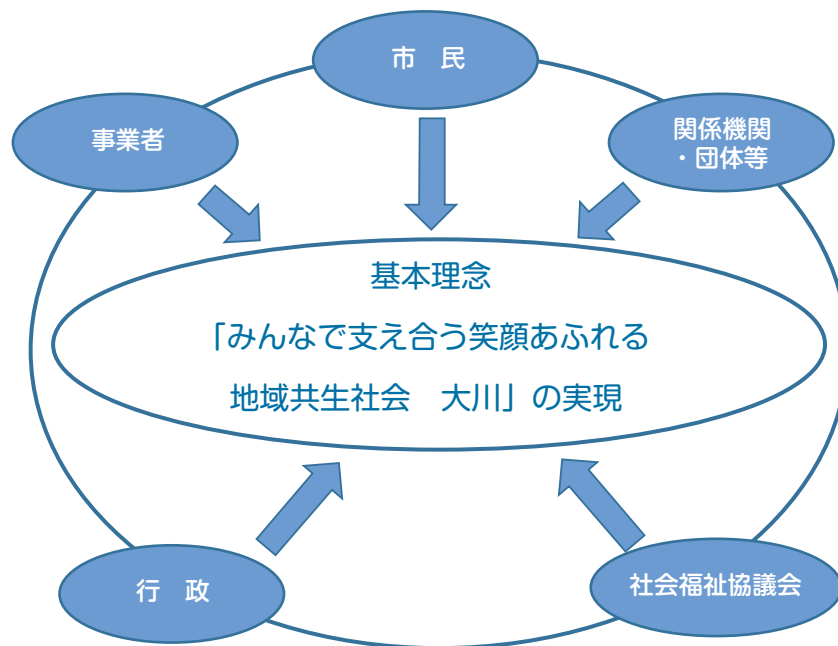
## 計画の推進体制

### ◆協働による計画の推進

地域福祉活動の主役は地域に生活している市民一人ひとりです。住みなれた地域で支え合い、助け合える地域社会を実現させていくためには、行政や社会福祉協議会の取り組みだけでは不十分であり、地域住民との協働が不可欠となります。

また、地域には多様な福祉ニーズが潜在しており、それらのニーズに対応していくためには、地域の中で活動するボランティア、NPO、関係機関・団体、福祉サービス事業所も地域福祉の重要な担い手となります。

計画を推進し、基本理念である「みんなで支え合う笑顔あふれる地域共生社会 大川」を実現していくにあたっては、地域福祉を担う主体がお互いに連携をとり、それぞれの役割を果たしながら協働して計画を推進していきます。



## 第2次大川市地域福祉計画・地域福祉活動計画【概要版】

令和2年3月発行

【編集・発行】大川市・大川市社会福祉協議会

大川市福祉事務所  
〒831-8601  
福岡県大川市大字酒見256番地1  
電話番号：0944-87-2101(代表)  
ファクス番号：0944-88-1776

大川市社会福祉協議会  
〒831-0005  
福岡県大川市大字向島1840番地2  
電話番号：0944-86-6556  
ファックス番号：0944-86-6485